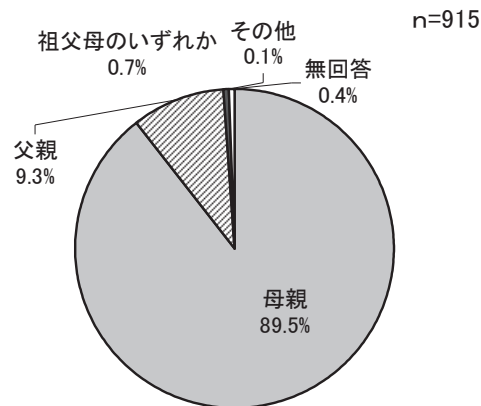


### 3 児童生徒保護者アンケート

#### (1) 回答者の属性

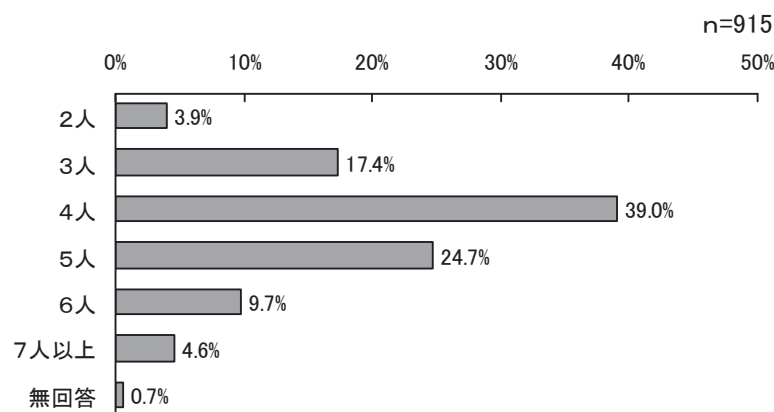
問1 この調査票の回答者についてお聞きします。この調査票を持ち帰ってきたお子様から見たあなたの続柄について教えてください。

子どもとの続柄は、「母親」が89.5%、「父親」が9.3%であり、その他の続柄はごくわずかである。



問2 この調査票を持ち帰ってきたお子様が、普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方は何人ですか。あなたも同居されている場合は、あなたの数も含めて人数を記入してください。

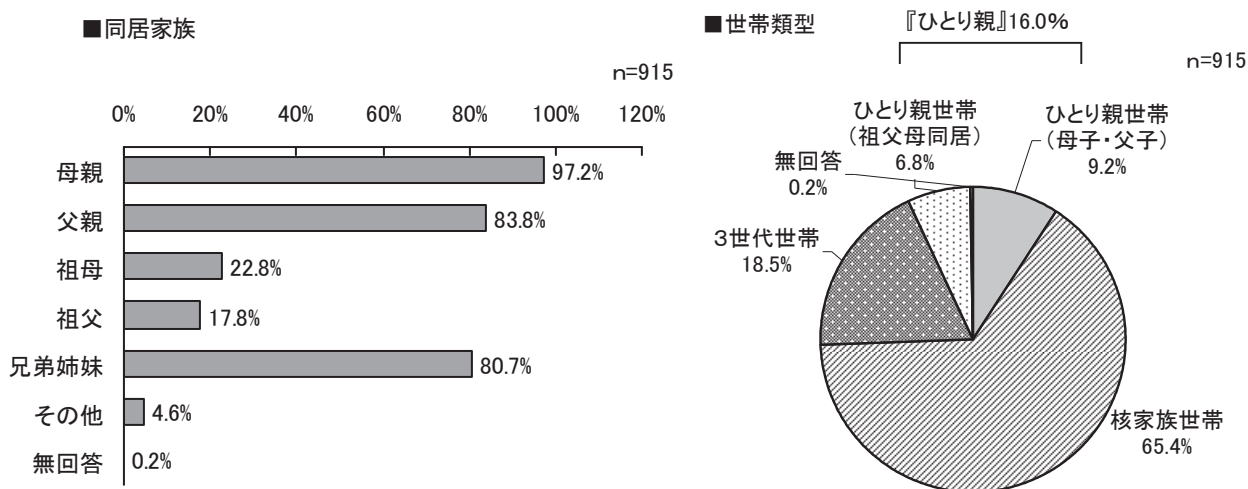
同居人数は、「4人」(39.0%)が最も多く、次いで「5人」(24.7%)、「3人」(17.4%)などで多くなっている。



問3 この調査票を持ち帰ってきたお子様と同居されているのはどなたですか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

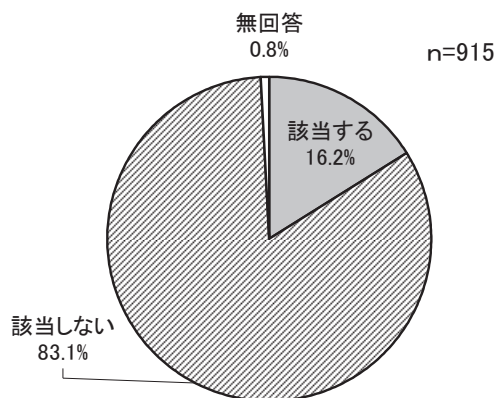
同居の家族については、「母親」(97.2%)が最も多く、次いで「父親」(83.8%)、「兄弟姉妹」(80.7%)、「祖母」(22.8%)、「祖父」(17.8%)となっている。

また、この設問への回答から世帯類型を算出したところ、父母・子からなる「核家族世帯」(65.4%)が6割以上を占め最も多い。また、祖父母・父母・子からなる「3世代世帯」は18.5%、ひとり親(母または父)と子からなる「ひとり親世帯(母子・父子)」(9.2%)と祖父母・ひとり親(母または父)・子からなる「ひとり親世帯(祖父母同居)」(6.8%)を合わせた『ひとり親』は16.0%となっている。



問4 あなたの世帯は、以下の「ひとり親世帯」に該当しますか。

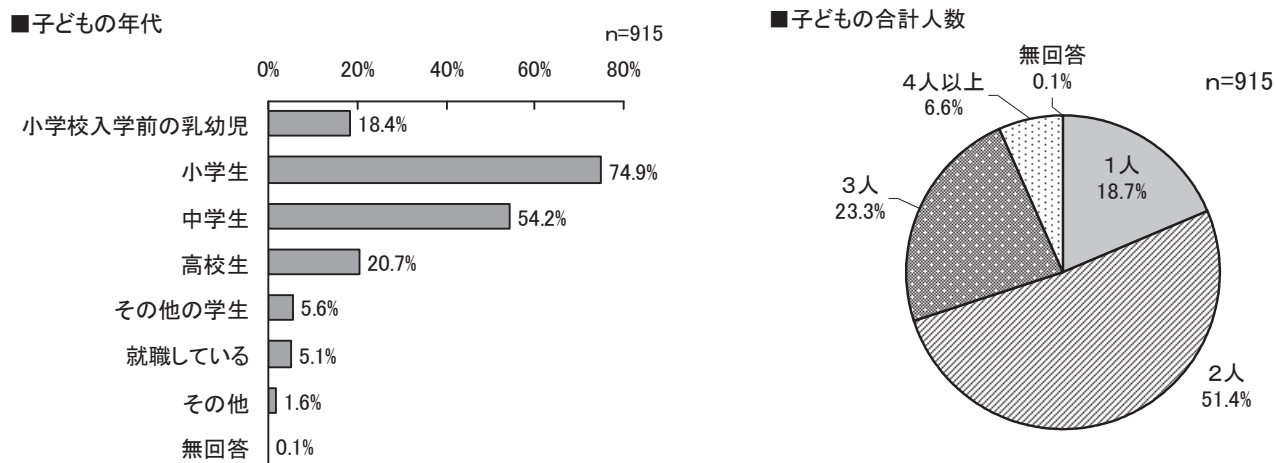
ひとり親世帯に該当するかどうかについては、「該当する」は16.2%、「該当しない」は83.1%である。



問5 あなたの世帯には、この調査票を持ち帰ってきたお子様を含めて以下に該当するお子様がそれぞれ何人いらっしゃいますか。該当する区分ごとに人数を記入してください。

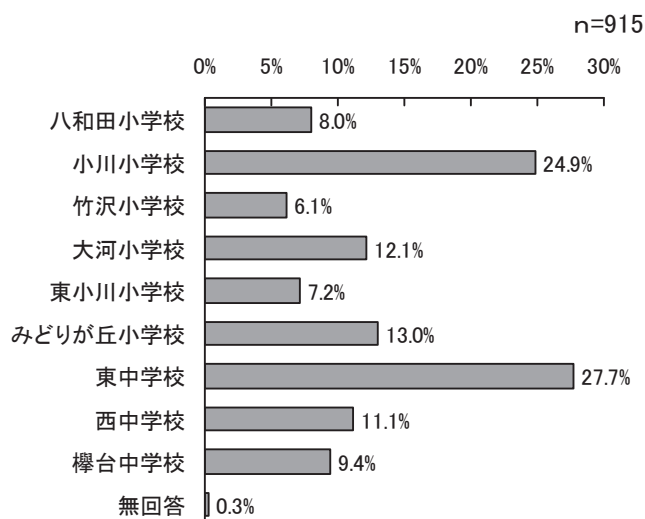
子どもの年代については、「小学生」(74.9%)が最も多く、次いで「中学生」(54.2%)、やや差があり「高校生」(20.7%)、「小学校入学前の乳幼児」(18.4%)などとなっている。

子どもの合計人数は、「2人」(51.4%)が最も多く、「3人」(23.3%)、「1人」(18.7%)、「4人以上」(6.6%)の順である。



問6 あなたのお子様はどちらの学校に通っていますか。あてはまるところすべてに○をつけてください。

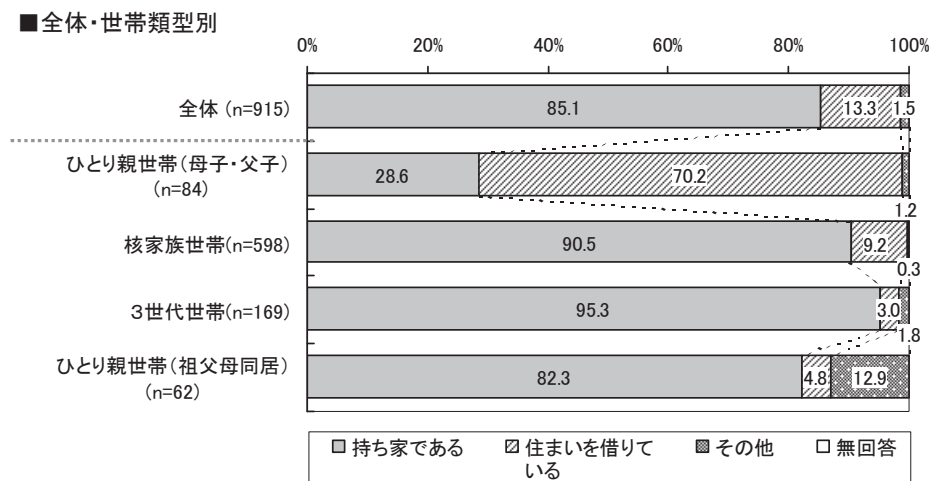
子どもの通う学校については、「東中学校」(27.7%)が最も多く、次いで「小川小学校」(24.9%)、「みどりが丘小学校」(13.0%)、「大河小学校」(12.1%)、「西中学校」(11.1%)などで1割を超え多くなっている。



問7 あなたの住まいは次のどれですか。

住まいについては、「持ち家である」(85.1%)が最も多く、次いで「住まいを借りている」(13.3%)などである。

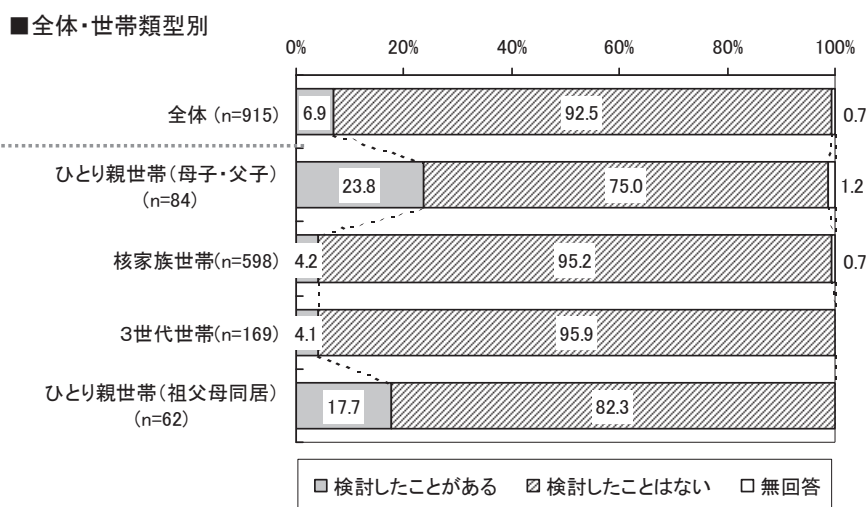
世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」で「住まいを借りている」(70.2%)が多くなっている。



問8 あなたは経済的な理由で、持ち家を手放したり、現在の住まいから引っ越ししたりということをここ1年ほどの間、真剣に検討したことがありますか。

経済的な理由での持ち家の処分や転居の検討については、「検討したことがある」は6.9%、「検討したことはない」が92.5%と9割以上を占める。

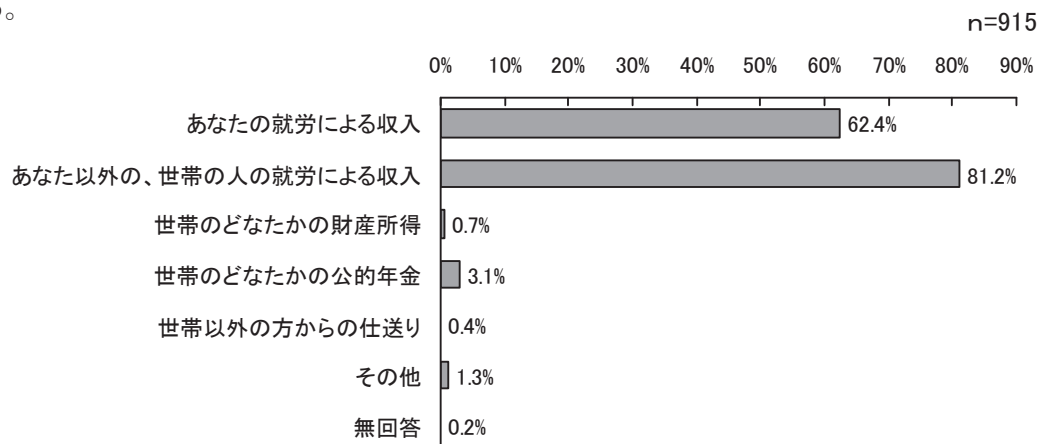
世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」「ひとり親世帯(祖父母同居)」で「検討したことがある」が多くなっている。



## (2) 世帯の就労や収入について

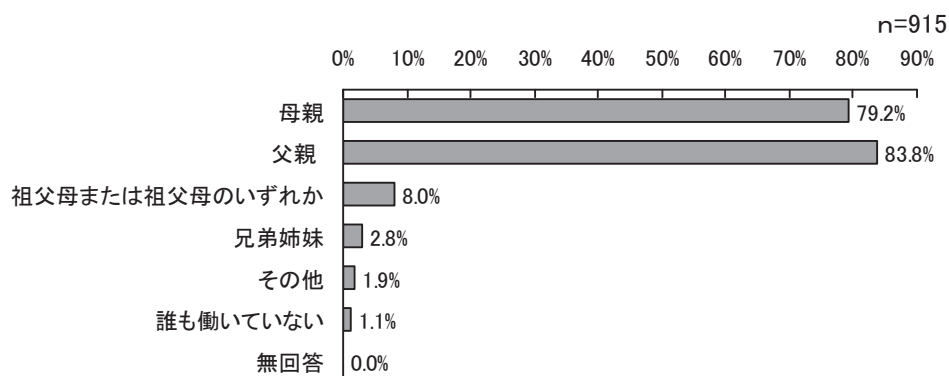
問9 あなたの世帯では、主な収入は次のどれに当たりますか。主なもの2つまでに○をつけてください。

世帯の主な収入は、「あなた以外の、世帯の人の就労による収入」(81.2%)が最も多く、次いで「あなたの就労による収入」(62.4%)である。その他の項目いずれもごくわずかである。



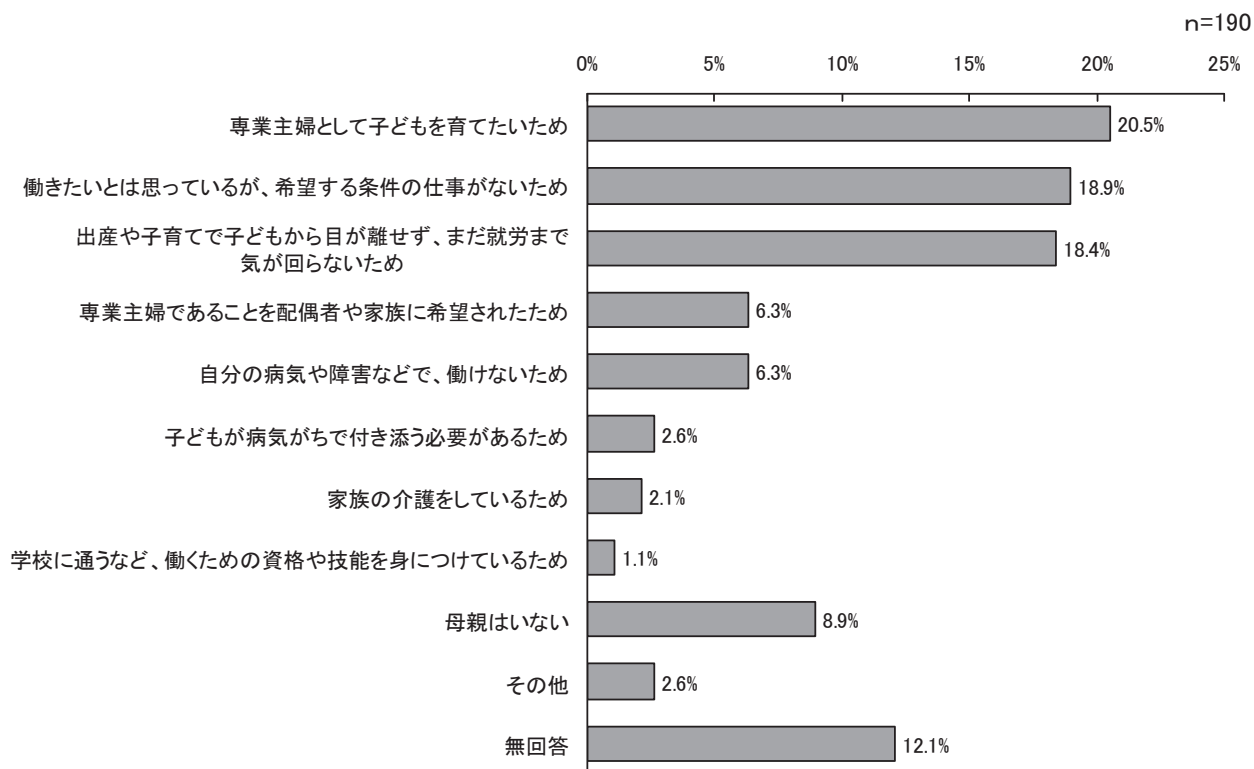
問10 あなたの世帯では、現在どなたが就労されていますか。

回答者の世帯で就労している人については、「父親」が83.8%、「母親」79.2%となっている。「祖父母または祖父母のいずれか」は8.0%となっている。



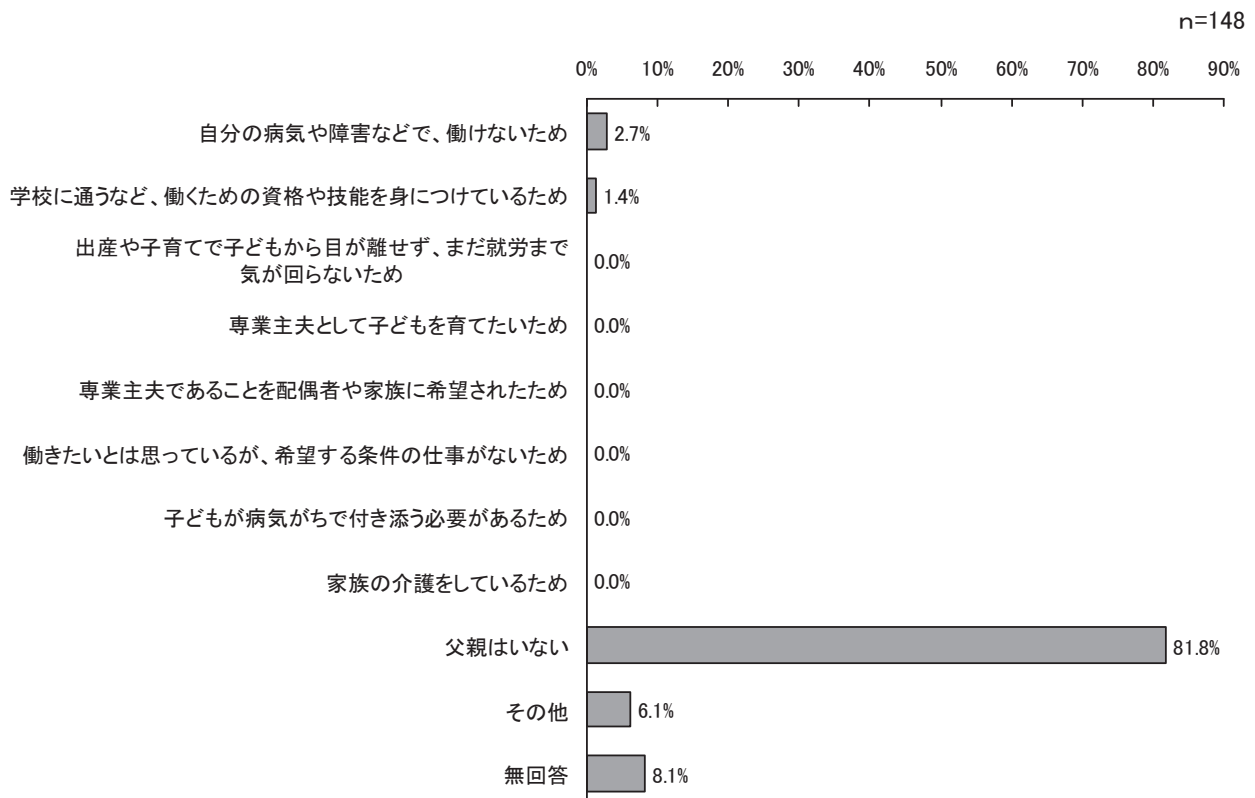
問11 問10で、「1. 母親」と回答されなかった方におたずねします。あなたの世帯では「母親」にあたる方が働いていらっしゃらないのはなぜですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。

問10で母親が働いていないと回答した方にその理由をたずねた。「専業主婦として子どもを育てたいため」(20.5%)、「働きたいとは思っているが、希望する条件の仕事がないため」(18.9%)、「出産や子育てで子どもから目が離せず、まだ就労まで気が回らないため」(18.4%)が主な回答となっている。



問11 問10で、「2. 父親」と回答されなかった方におたずねします。あなたの世帯では「父親」にあたる方が働いていらっしやらないのはなぜですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。

問10で父親が働いていないと回答した方にその理由をたずねた。回答のほとんどが「父親はいない」(81.8%)であり、「自分の病気や障害などで、働けないため」(2.7%)や「学校に通うなど、働くための資格や技能を身につけているため」(1.4%)などの理由はごくわずかとなっている。



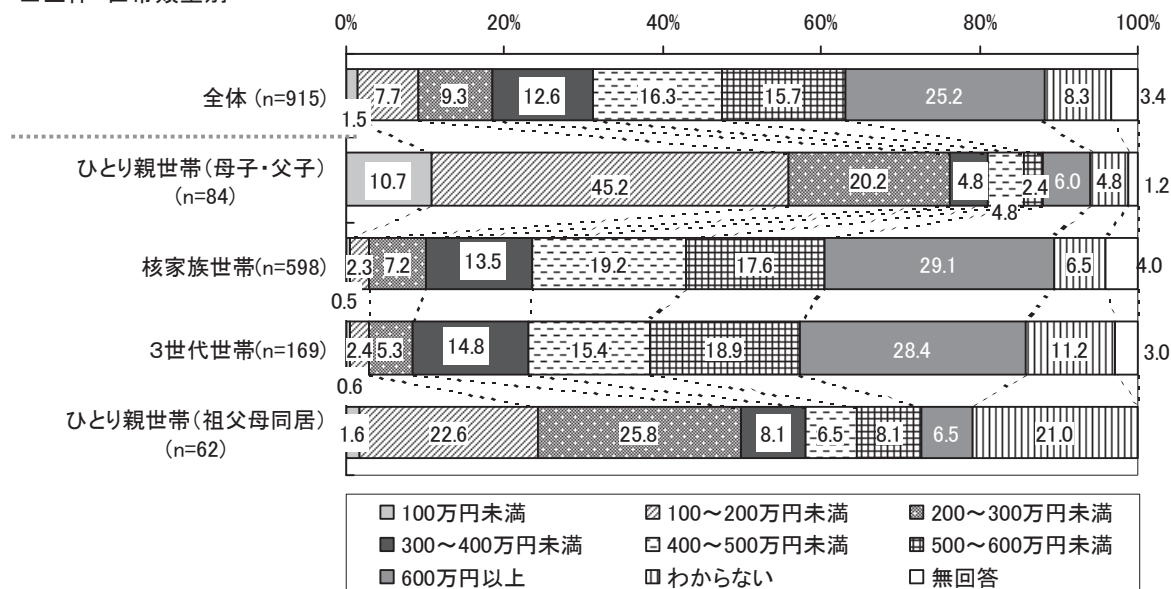
問13 あなたの世帯では、昨年の世帯収入の合計額はおよそいくらでしたか。

昨年の世帯収入の合計額については、「600万円以上」(25.2%)が最も多く、「400～500万円」(16.3%)、「500～600万円未満」(15.7%)など、400万円以上との回答が多くなっている。

世帯類型別では、「ひとり親(母子・父子)」で「100万円未満」(10.7%)、「100～200万円未満」(45.2%)、「200～300万円未満」(20.2%)が多く、年収300万円未満が7割近くを占めている。

「ひとり親(祖父母同居)」についても、「100～200万円未満」(22.6%)、「200～300万円未満」(25.8%)が多く、年収300万円未満が半数を占める。また「わからない」との回答も2割を超えて多くなっている。

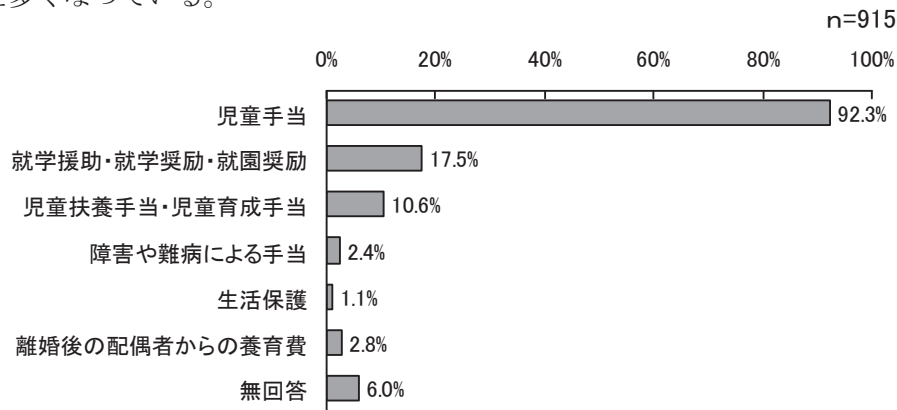
■全体・世帯類型別





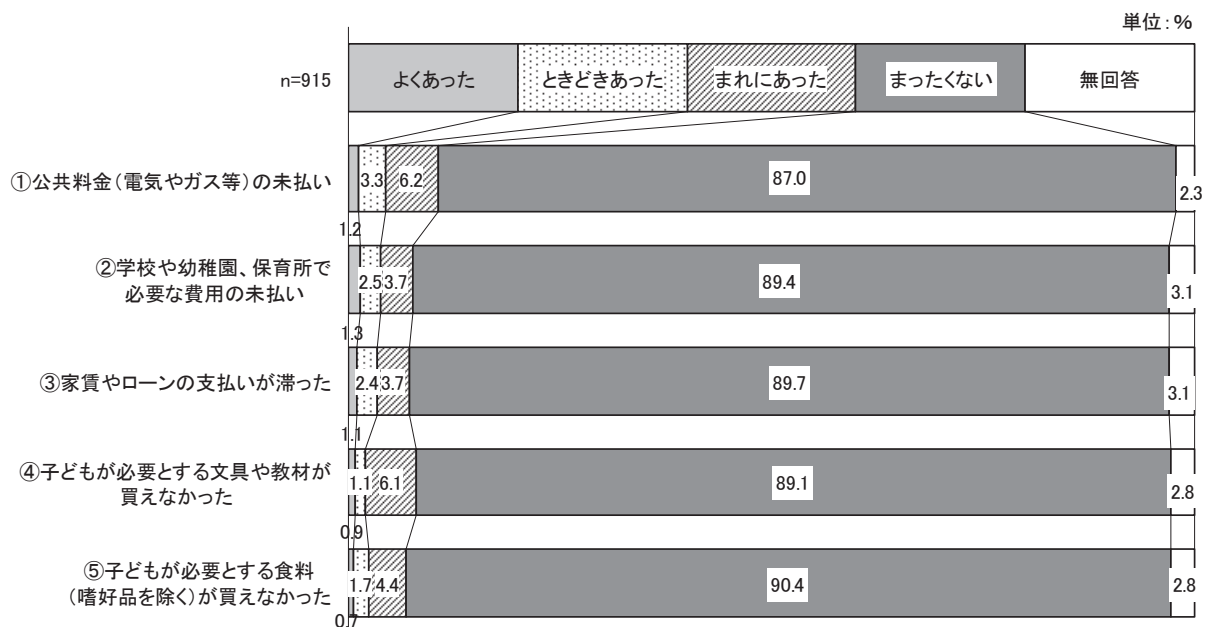
問 14 あなたの世帯では、過去1年間で以下の手当や援助等を受けたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

手当や援助の受給については、「児童手当」(92.3%)が最も多く、やや差があり「就学援助・就学奨励・就園奨励」(17.5%)、「児童扶養手当・児童育成手当」(10.6%)などが1割を超え多くなっている。



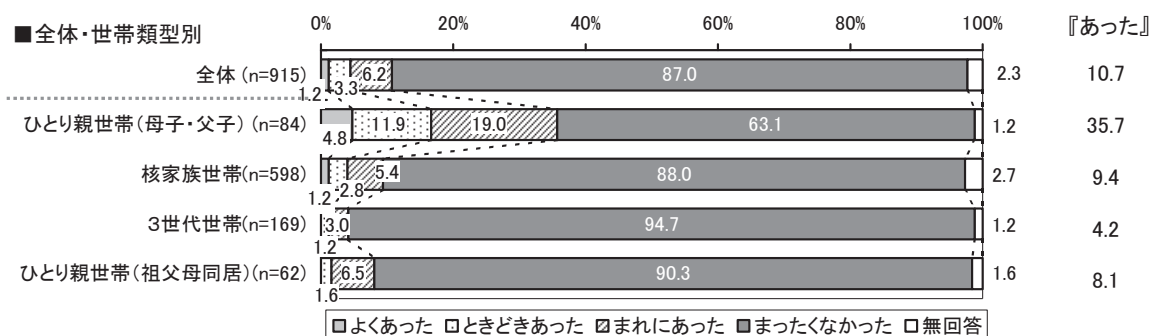
問 15 あなたの世帯では、過去1年間で経済的な理由により、次のようなことがありましたか。あてはまるものを、それぞれ1つに○をつけてください。

過去1年間の経済的な理由による、料金等の未払いや滞納の経験については、いずれの項目についても「まったくない」が8割を超え最も多い。



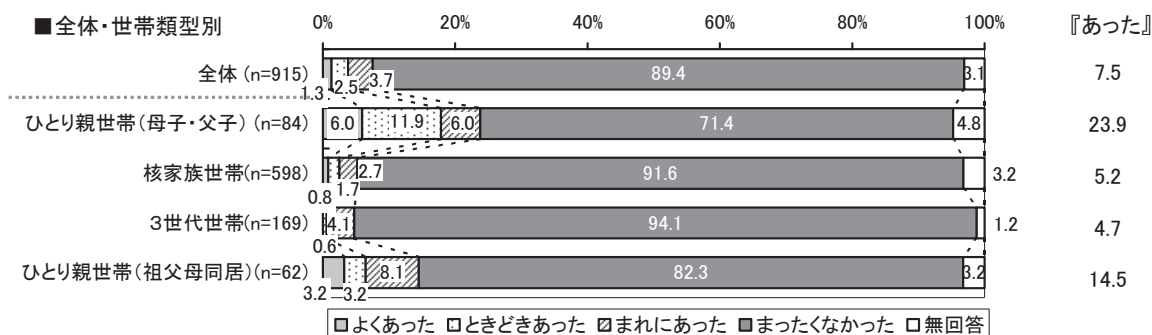
① 公共料金の未払い

公共料金の未払いについて、世帯類型別では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』は「ひとり親世帯（母子・父子）」のみ3割を超える。



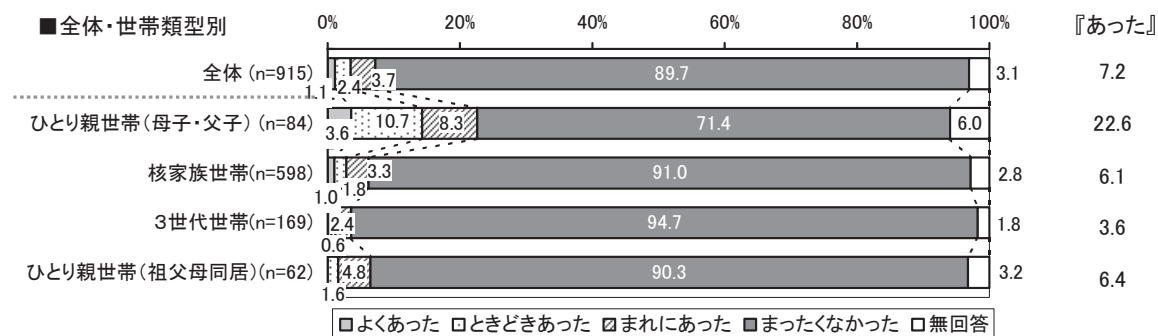
② 学校・幼稚園等の費用の未払い

学校・幼稚園等の費用の未払いについて、世帯類型別では、『あった』は「ひとり親世帯（母子・父子）」で2割、「ひとり親世帯（祖父母同居）」で1割を超える。



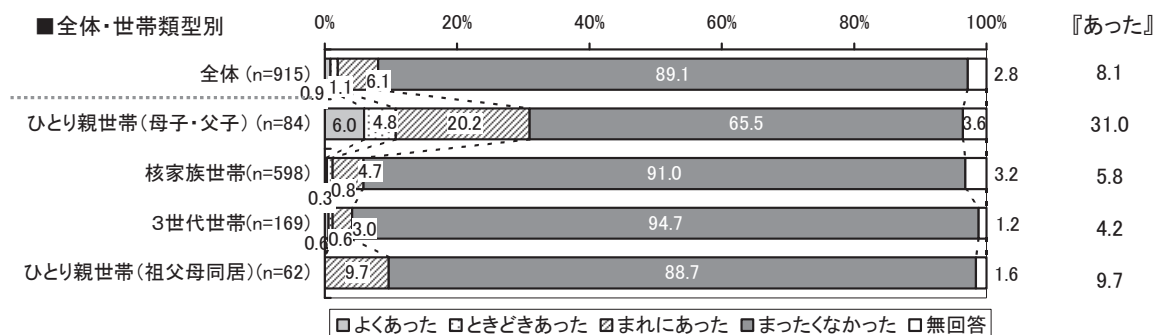
③ 家賃やローンの滞納

家賃やローンの滞納について、世帯類型別では、『あった』は「ひとり親世帯（母子・父子）」のみ2割を超える。



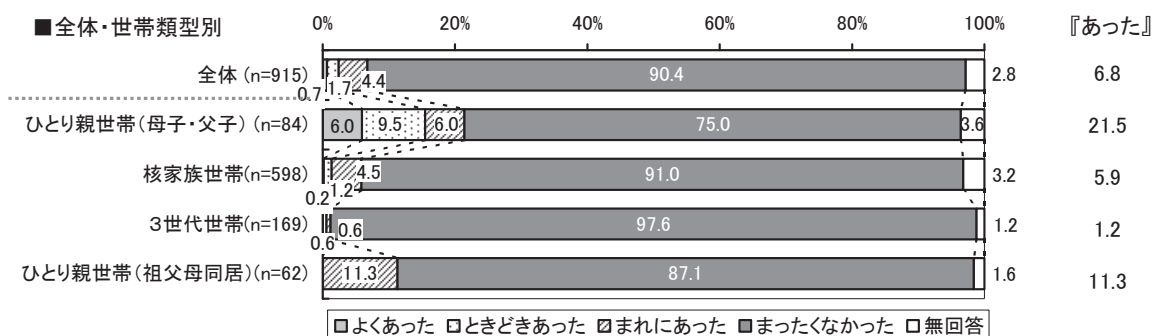
## ④ 子どもが必要とする文具・教材が買えないこと

子どもが必要とする文具・教材が買えないことについて、世帯類型別では、『あった』は「ひとり親世帯（母子・父子）」のみ3割を超える。



## ⑤ 子どもが必要とする食料が買えないこと

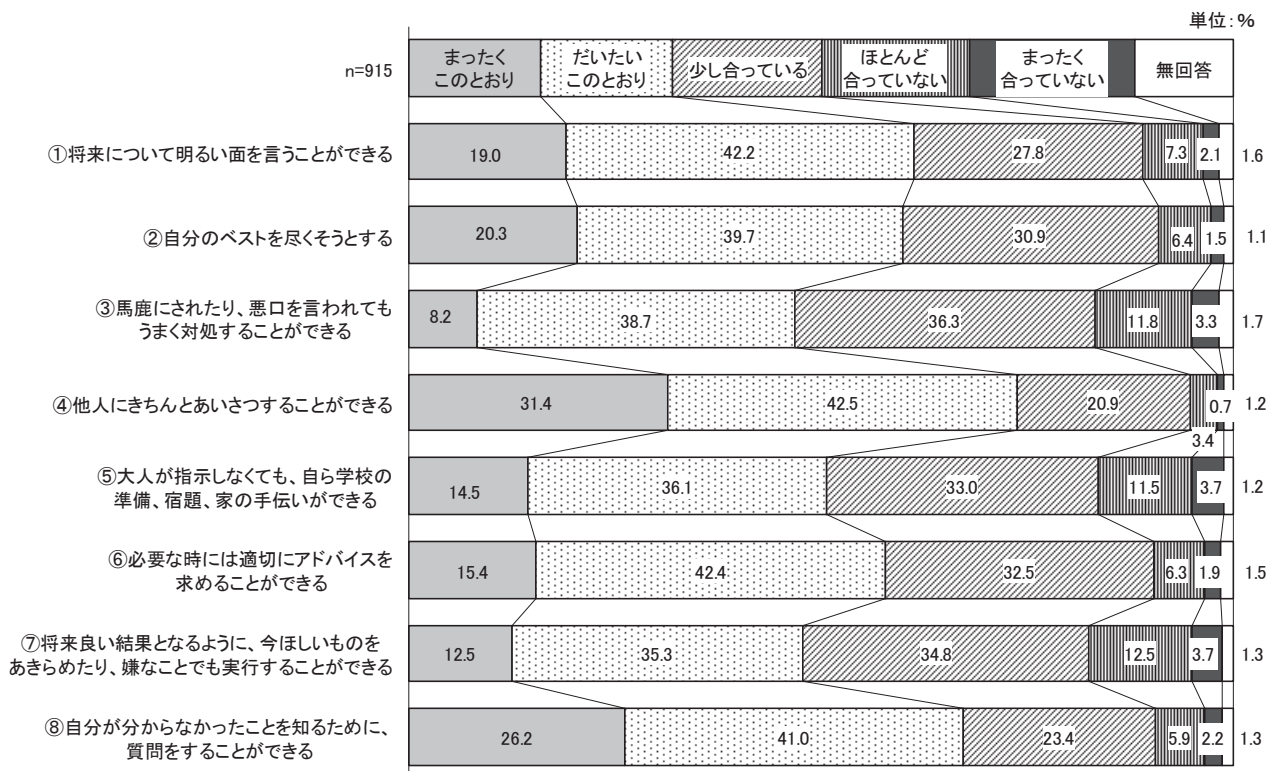
子どもの必要とする食料（嗜好品を除く）が買えないことについて、世帯類型別では、『あった』は「ひとり親世帯（母子・父子）」で2割、「ひとり親世帯（祖父母同居）」で1割を超える。



### (3) 子どもの考えについて

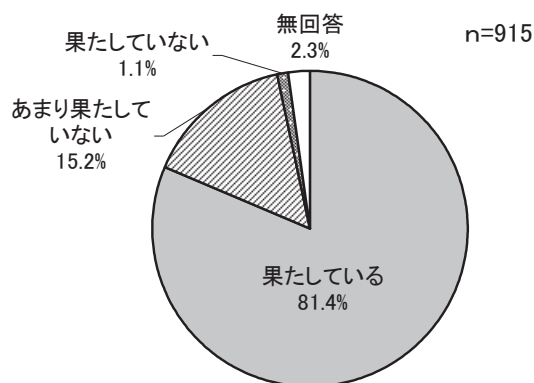
問 16 過去1か月のあなたの世帯のお子様の様子はどれですか。あてはまるものを、それぞれ1つに○をつけてください。

過去1か月の子どもの様子について、「まったくこのとおり」と「だいたいこのとおり」を合わせた『このとおり』が6割を超えているのは、「④他人にきちんとあいさつすることができる」(73.9%)、「⑧自分が分からなかったことを知るために、質問をすることができる」(67.2%)、「①将来について明るい面を言うことができる」(61.2%)、「②自分のベストを尽くそうとする」(60.0%)など4項目となっている。



問 17 あなたの世帯のお子様は、家族の一員としての役割を果たしていますか。

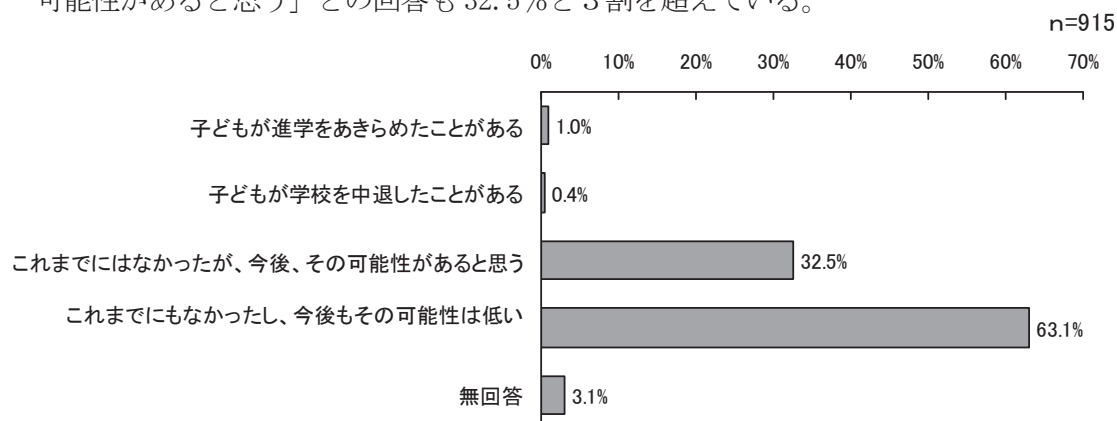
子どもが家族の一員としての役割を果たしているかどうかについては、「果たしている」が81.4%と最も多く、「あまり果たしていない」は15.2%、「果たしていない」は1.1%となっている。



## (4) 教育や進学について

問 18 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもが進学をあきらめたり、学校を中退したことがある、または、今後その可能性があると思いますか。

経済的な理由による学業への支障と今後の可能性については、「これまでもなかったし、今後もその可能性は低い」が 63.1%で最も多いが、「これまでもなかったが、今後、その可能性があると思う」との回答も 32.5%と3割を超えている。

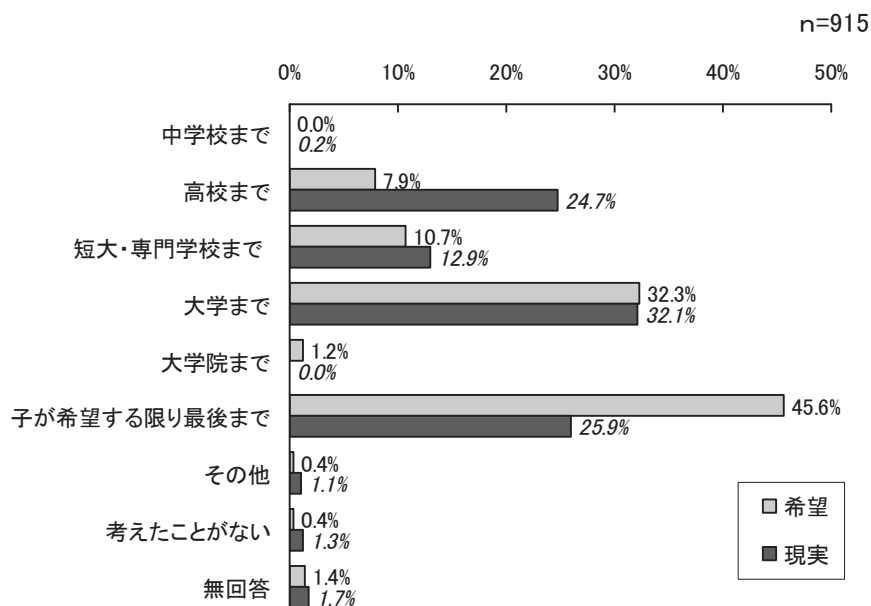


問 19 あなたは、希望としては、この調査票を持ち帰ってきたお子様を将来どの学校まで行かせたいと考えていますか。

問 20 あなたは、現実としては、この調査票を持ち帰ってきたお子様を将来どの学校まで行かせることができると考えていますか。

子どもの進学に関する希望については、「子が希望する限り最後まで」(45.6%)、「大学まで」(32.3%)、「短大・専門学校まで」(10.7%)、「高校まで」(7.9%)の順となっている。

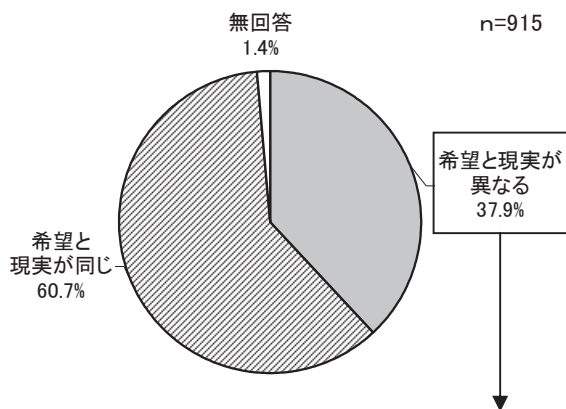
一方で、子どもの進学に関する現実については、「大学まで」(32.1%)、「子が希望する限り最後まで」(25.9%)、「高校まで」(24.7%)、「短大・専門学校まで」(12.9%)の順となり、「子が希望する限り最後まで」は20ポイント近く減少、反対に「高校まで」は17ポイント近く増加している。



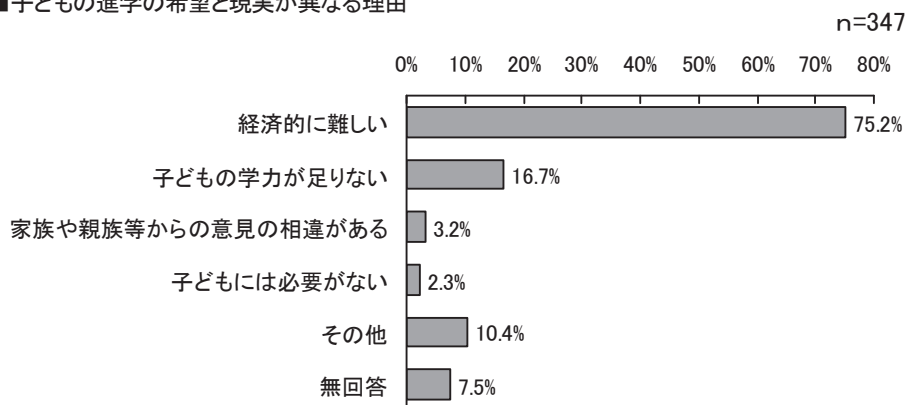
問21 問19と問20の回答が異なる方におたずねします。希望と現実が異なると考えているのはどうしてですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

子どもの進学の希望と現実が異なる人は全体の37.9%であり、その方たちにそう思う理由をたずねた。「経済的に難しい」(75.2%)が群を抜いて多く、次いでやや差があり「子どもの学力が足りない」(16.7%)となっている。

■子どもの進学の希望と現実に差があるか



■子どもの進学の希望と現実が異なる理由

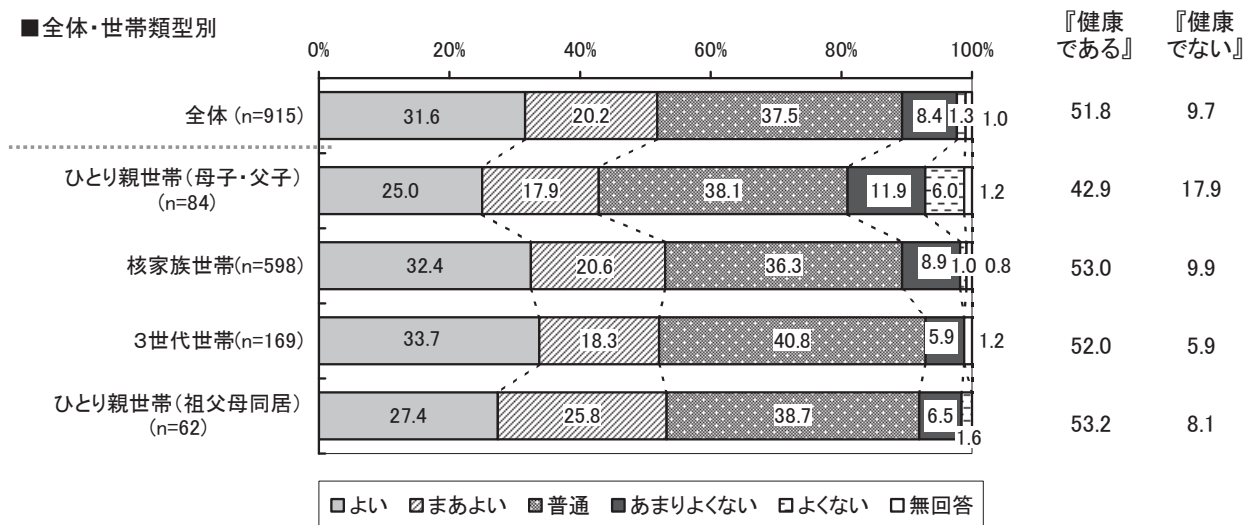


## (5) 健康状態や悩み等について

問 22 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

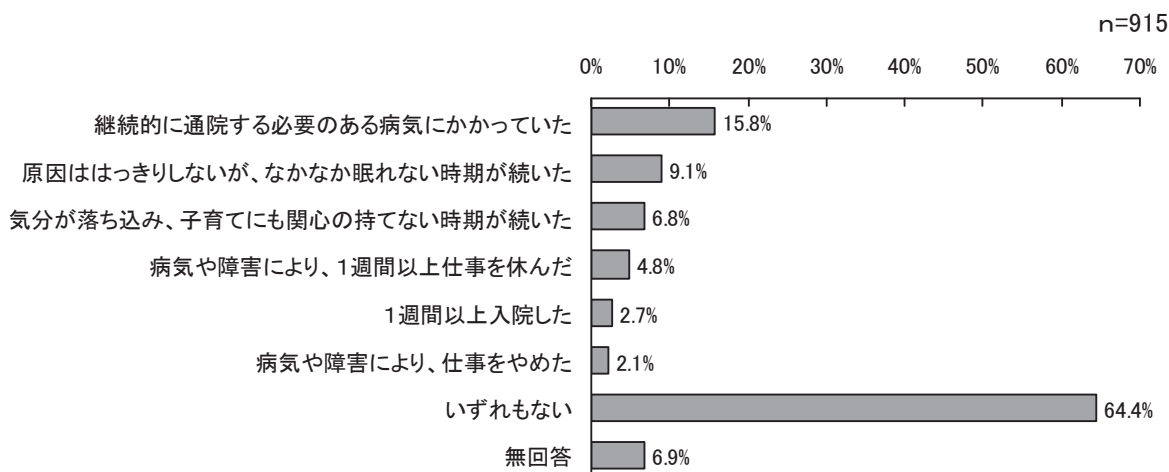
回答者の現在の健康状態について、「よい」(31.6%)と「まあよい」(20.2%)を合わせた『健康である』は51.8%となっている。反対に、「よくない」(1.3%)と「あまりよくない」(8.4%)を合わせた『健康でない』は9.7%と1割程度である。

世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」で、『健康でない』(17.9%)が2割近くと他に比べ多くなっている。



問 23 あなたは過去1年間で、次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間の健康上の経験については、「いずれもない」(64.4%)が6割を超え最も多い。次いで、やや差があり「継続的に通院する必要がある病気にかかっていた」(15.8%)「原因ははっきりしないが、なかなか眠れない時期が続いた」(9.1%)「気分が落ち込み、子育てにも関心の持てない時期が続いた」(6.8%)、「病気や障害により、1週間以上仕事を休んだ」(4.8%)となっている。



世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」のみ「継続的に通院する必要がある病気にかかっていた」(22.6%)「原因ははっきりしないが、なかなか眠れない時期が続いた」(23.8%)「気分が落ち込み、子育てにも関心の持てない時期が続いた」(21.4%)が2割を超えて多くなっている。

「ひとり親世帯(祖父母同居)」では、「継続的に通院する必要がある病気にかかっていた」「病気や障害により、1週間以上仕事を休んだ」(ともに14.5%)との回答が他の項目を上回る。

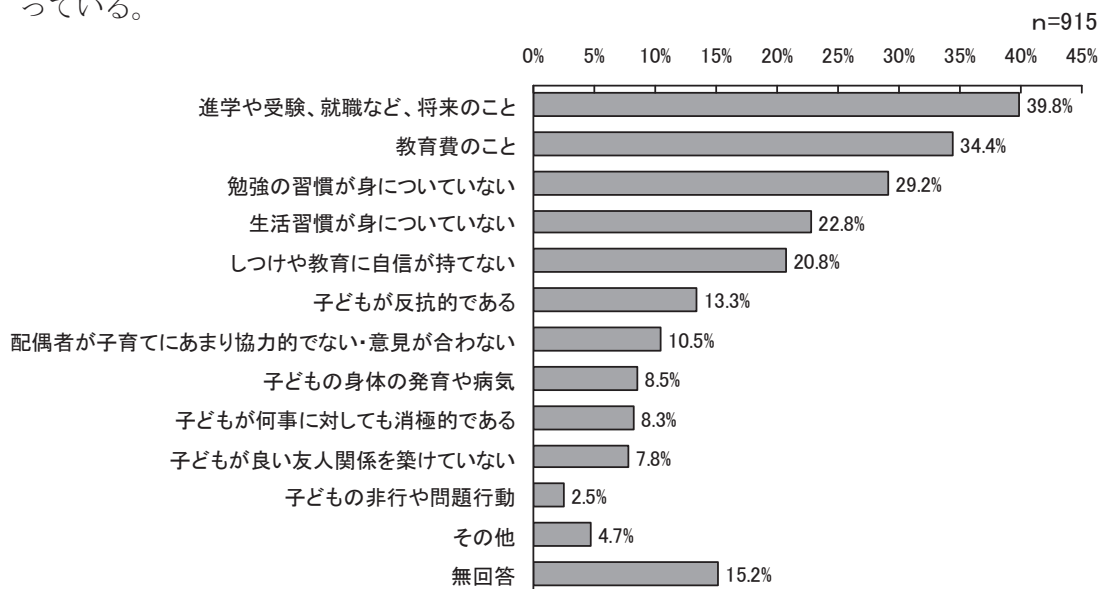
単位: 上段 人、下段 %

問23 過去1年間の精神状態	合計	継続的に 通院する 必要のある 病気にかかっ ていた	原因は はっきりし ないが、 なかなか 眠れない 時期が続 いた	気分が落 ち込み、 子育てに も関心の 持てない 時期が続 いた	病気や障 害により、 1週間以 上仕事を 休んだ	1週間以 上入院し た	病気や障 害により、 仕事をや めた	いづれも ない	無回答	
全体	915 100.0	145 15.8	83 9.1	62 6.8	44 4.8	25 2.7	19 2.1	589 64.4	63 6.9	
世帯 類型	ひとり親世帯 (母子・父子)	84 100.0	19 22.6	20 23.8	18 21.4	6 7.1	5 6.0	4 4.8	39 46.4	4 4.8
	核家族世帯	598 100.0	88 14.7	49 8.2	37 6.2	27 4.5	16 2.7	13 2.2	395 66.1	38 6.4
	3世代世帯	169 100.0	29 17.2	9 5.3	6 3.6	2 1.2	3 1.8	1 0.6	117 69.2	14 8.3
	ひとり親世帯 (祖父母同居)	62 100.0	9 14.5	5 8.1	1 1.6	9 14.5	1 1.6	1 1.6	38 61.3	5 8.1



問 24 あなたは、子どものことについて悩んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

子どもについての悩み事については、「進学や受験、就職など、将来のこと」(39.8%)、「教育費のこと」(34.4%)、「勉強の習慣が身につけていない」(29.2%)、「生活習慣が身につけていない」(22.8%)、「しつけや教育に自信が持てない」(20.8%)などで2割を超え多くなっている。



世帯類型別では、「ひとり親家庭（母子・父子）」で、「進学や受験、就職など、将来のこと」(45.2%)、「教育費のこと」(54.8%)、「勉強の習慣が身につけていない」(46.4%)、「しつけや教育に自信が持てない」(33.3%)、「子どもが反抗的である」(20.2%)など多くの項目で、他の属性を上回っている。

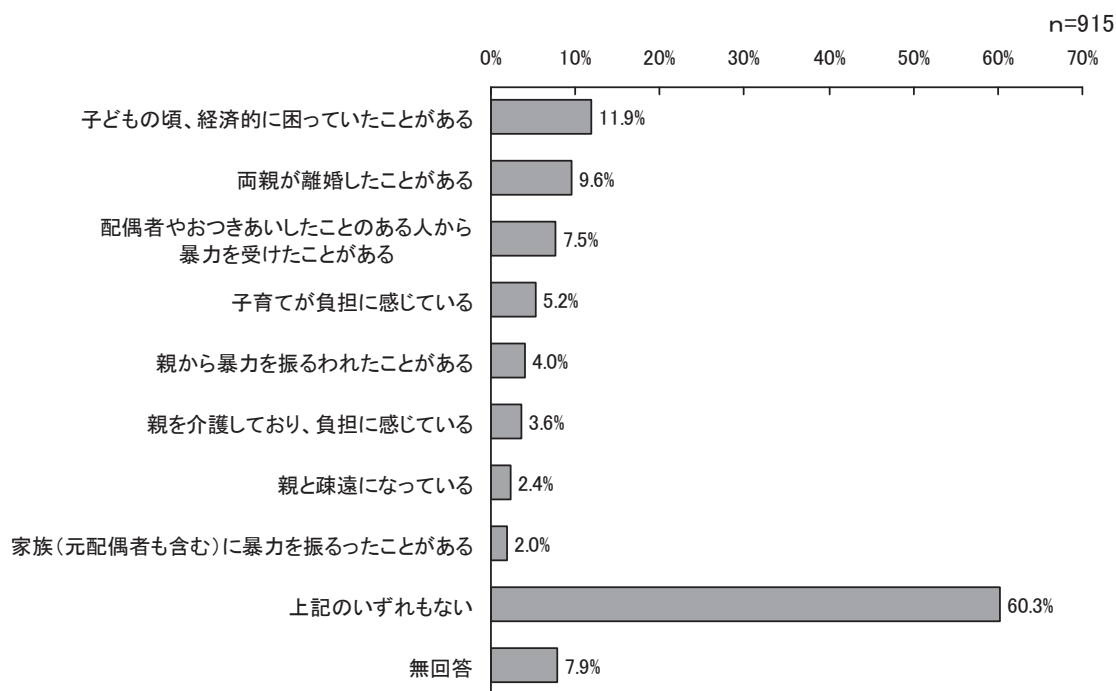
単位:上段 人、下段 %

問24 子についての悩み	合計	進学や受験、就職など、将来のこと	教育費のこと	勉強の習慣が身につけていない	生活習慣が身につけていない	しつけや教育に自信が持てない	子どもが反抗的である	配偶者が子育てに非協力的・意見不一致	
全体	915 100.0	364 39.8	315 34.4	267 29.2	209 22.8	190 20.8	122 13.3	96 10.5	
世帯類型	ひとり親世帯(母子・父子)	84 100.0	38 45.2	46 54.8	39 46.4	22 26.2	28 33.3	17 20.2	1 1.2
	核家族世帯	598 100.0	239 40.0	195 32.6	161 26.9	132 22.1	122 20.4	78 13.0	81 13.5
	3世代世帯	169 100.0	62 36.7	51 30.2	53 31.4	37 21.9	27 16.0	14 8.3	13 7.7
	ひとり親世帯(祖父母同居)	62 100.0	24 38.7	23 37.1	14 22.6	18 29.0	13 21.0	13 21.0	1 1.6

問24 子についての悩み	合計	子どもの身体の発育や病気	子どもが何事に対しても消極的である	子どもが良い友人関係を築けていない	子どもの非行や問題行動	その他	無回答	
全体	915 100.0	78 8.5	76 8.3	71 7.8	23 2.5	43 4.7	139 15.2	
世帯類型	ひとり親世帯(母子・父子)	84 100.0	7 8.3	10 11.9	7 8.3	4 4.8	5 6.0	7 8.3
	核家族世帯	598 100.0	48 8.0	38 6.4	43 7.2	11 1.8	27 4.5	91 15.2
	3世代世帯	169 100.0	18 10.7	20 11.8	15 8.9	5 3.0	10 5.9	27 16.0
	ひとり親世帯(祖父母同居)	62 100.0	5 8.1	8 12.9	6 9.7	3 4.8	1 1.6	13 21.0

問 25 あなたはこれまでに、次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

回答者に過去の経験についてたずねた。「上記のいずれもない」(60.3%)が最も多い。次いで、大きく差があり「子どもの頃、経済的に困っていたことがある」(11.9%)、「両親が離婚したことがある」(9.6%)、「配偶者やおつきあひしたことがある人から暴力を受けたことがある」(7.5%)、「子育てが負担に感じている」(5.2%)となっている。



世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」で、「配偶者やおつきあひしたことがある人から暴力を受けたことがある」(21.4%)、「両親が離婚したことがある」(19.0%)、「子どもの頃、経済的に困っていたことがある」(17.9%)、「親から暴力を振るわれたことがある」(10.7%)などの回答が他を大きく上回る。

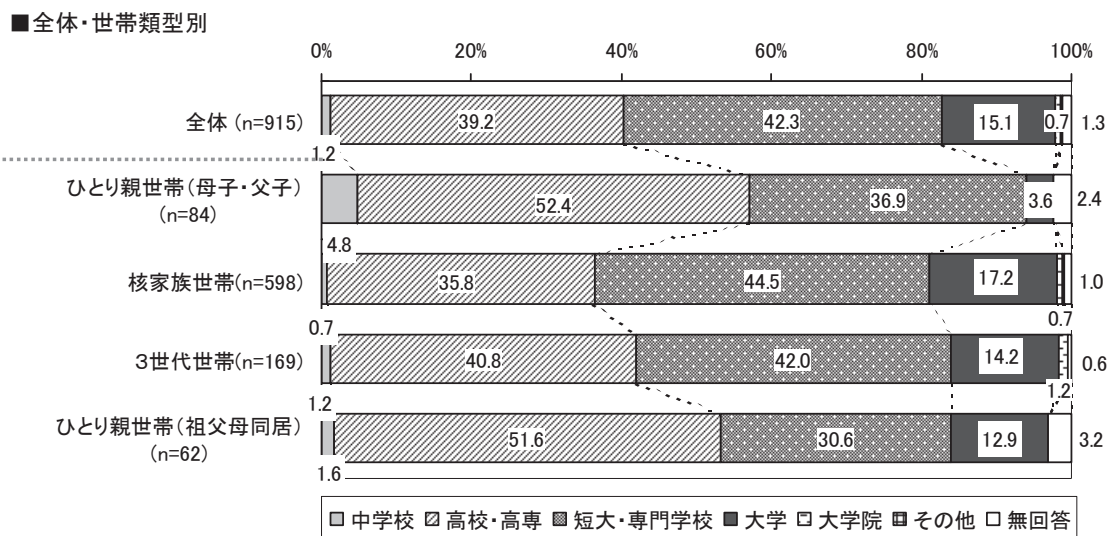
単位: 上段 人、下段 %

問25 過去の家族との問題	合計	子どもの頃、経済的に困っていたことがある	両親が離婚したことがある	配偶者やおつきあひしたことがある人から暴力を受けたことがある	子育てが負担に感じている	親から暴力を振るわれたことがある	親を介護しており、負担に感じている	親と疎遠になっている	家族(元配偶者も含む)に暴力を振るったことがある	上記のいずれもない	無回答	
全体	915	109	88	69	48	37	33	22	18	552	72	
	100.0	11.9	9.6	7.5	5.2	4.0	3.6	2.4	2.0	60.3	7.9	
世帯類型	ひとり親世帯(母子・父子)	84	15	16	18	8	9	1	2	6	30	7
		100.0	17.9	19.0	21.4	9.5	10.7	1.2	2.4	7.1	35.7	8.3
	核家族世帯	598	73	49	36	31	19	18	17	6	389	38
		100.0	12.2	8.2	6.0	5.2	3.2	3.0	2.8	1.0	65.1	6.4
3世代世帯	169	16	16	7	5	4	12	2	2	107	16	
		100.0	9.5	9.5	4.1	3.0	2.4	7.1	1.2	63.3	9.5	
ひとり親世帯(祖父母同居)	62	5	7	8	4	4	2	1	3	26	10	
	100.0	8.1	11.3	12.9	6.5	6.5	3.2	1.6	4.8	41.9	16.1	

問 26 あなたが最後に通った学校は次のどれですか。

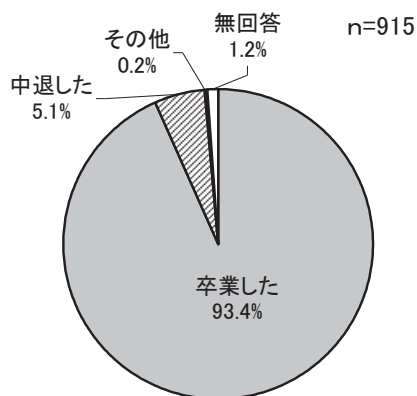
回答者の最終学歴については、「短大・専門学校」(42.3%)、「高校・高専」(39.2%)、「大学」(15.1%)となっている。

世帯類型別では、「ひとり親世帯(母子・父子)」「ひとり親世帯(祖父母同居)」では、「高校・高専」が最も多い。「核家族世帯」「3世代世帯」では、「短大・専門学校」が最も多くなっている。



問 27 あなたは最後に通った学校を、卒業しましたか。

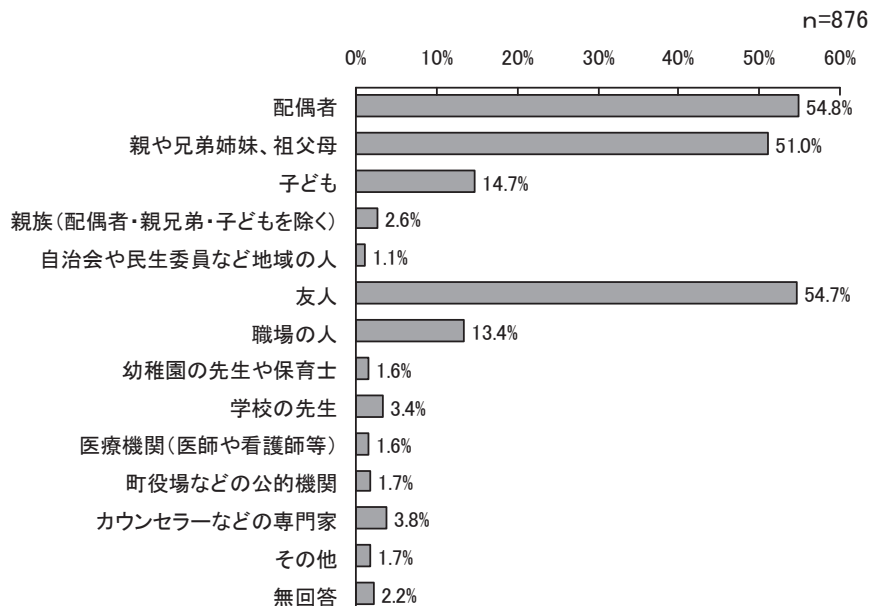
最後に通った学校の卒業の有無については、「卒業した」が93.4%、「中退した」が5.1%となっている。





問29 問28で「1. いる」「2. いないがほしいと考えている」とお答えの方におたずねします。その相談相手はどなたですか。また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いますか。

問28で相談相手がいる・いないがほしいと回答した方に相談相手をたずねた。「配偶者」(54.8%)、「友人」(54.7%)、「親や兄弟姉妹、祖父母」(51.0%)が5割以上で多くなっている。やや差があり、「子ども」(14.7%)、「職場の人」(13.4%)と続く。



問28の相談相手の有無別でみると、相談相手が「いる」人では「配偶者」、「友人」「親や兄弟姉妹、祖父母」などが多いのに対し、相談相手が「いないがほしいと考えている」人は、「友人」「カウンセラーなどの専門家」「町役場などの公的機関」などが多くなっている。

単位: 上段 人、下段 %

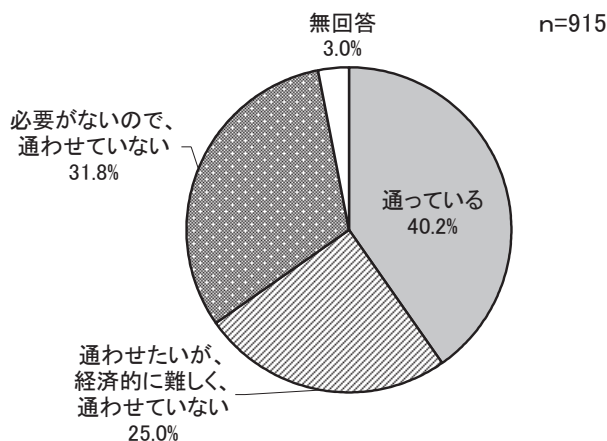
問29 相談相手	合計	配偶者	友人	親や兄弟姉妹、祖父母	子ども	職場の人	カウンセラーなどの専門家	学校の先生	
全体	876	480	479	447	129	117	33	30	
	100.0	54.8	54.7	51.0	14.7	13.4	3.8	3.4	
問28 相談できる相手の有無	いる	790	466	443	432	124	114	9	28
	いないがほしいと考えている	86	14	36	15	5	3	24	2
	100.0	59.0	56.1	54.7	15.7	14.4	1.1	3.5	
	100.0	16.3	41.9	17.4	5.8	3.5	27.9	2.3	

問29 相談相手	合計	親族(配偶者・親兄弟・子どもを除く)	町役場などの公的機関	幼稚園の先生や保育士	医療機関(医師や看護師等)	自治会や民生委員など地域の人	その他	無回答	
全体	876	23	15	14	14	10	15	19	
	100.0	2.6	1.7	1.6	1.6	1.1	1.7	2.2	
問28 相談できる相手の有無	いる	790	23	8	13	14	7	7	16
	いないがほしいと考えている	86	0	7	1	0	3	8	3
	100.0	0.0	8.1	1.2	0.0	3.5	9.3	3.5	

## (6) 子どものいる世帯への支援のあり方について

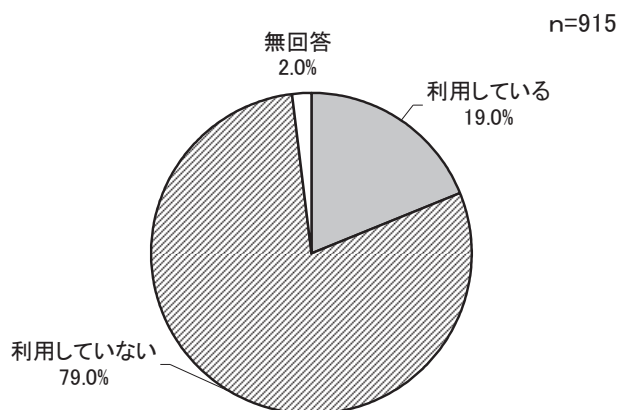
問30 あなたの世帯のお子様は塾に通っていますか。

子どもの通塾について、「通っている」が40.2%で最も多く、次いで「必要がないので、通わせていない」が31.8%、「通わせたいが、経済的に難しく、通わせていない」が25.0%となっている。



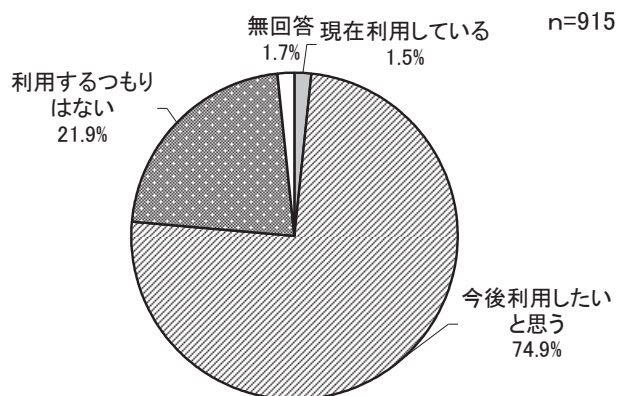
問31 あなたの世帯のお子様は学童保育を利用していますか。

子どもの学童保育の利用について、「利用している」が19.0%、「利用していない」が79.0%となっている。



問 32 あなたは、学生ボランティア等による無料の学習支援制度（塾のようなもの）があった場合、利用したいと思いますか。

学習支援制度の利用意向について、「今後、利用したいと思う」が74.9%、「利用するつもりはない」が21.9%となっている。「現在利用している」は1.5%にとどまる。

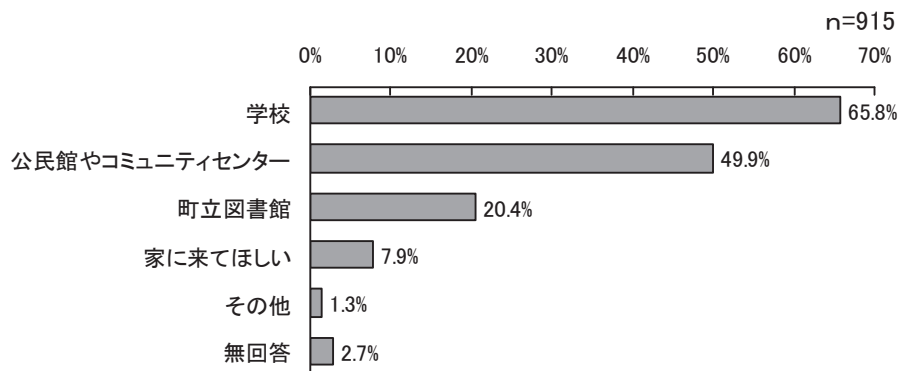


問33 あなたは、問32のような制度を利用しやすくなるためにはどうすると良いと思いますか。

学習支援制度が利用しやすくなるための条件についてたずねた。

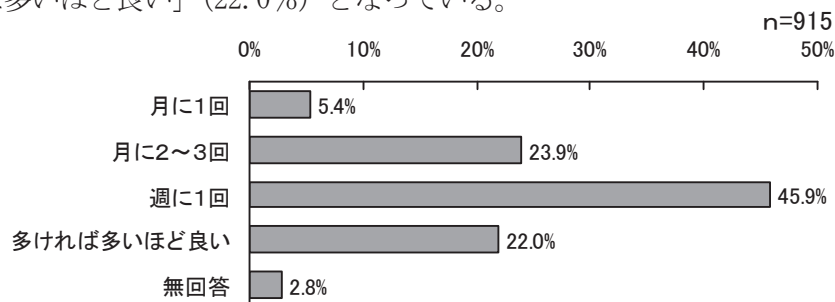
#### ① 開催場所

開催場所については、「学校」(65.8%)、「公民館やコミュニティセンター」(49.9%)、「町立図書館」(20.4%)となっている。



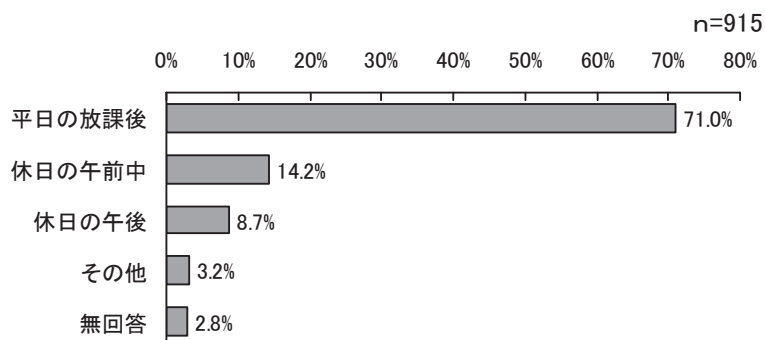
#### ② 開催回数

開催回数については、「週に1回」(45.9%)が最も多く、次いで「月に2～3回」(23.9%)、「多ければ多いほど良い」(22.0%)となっている。



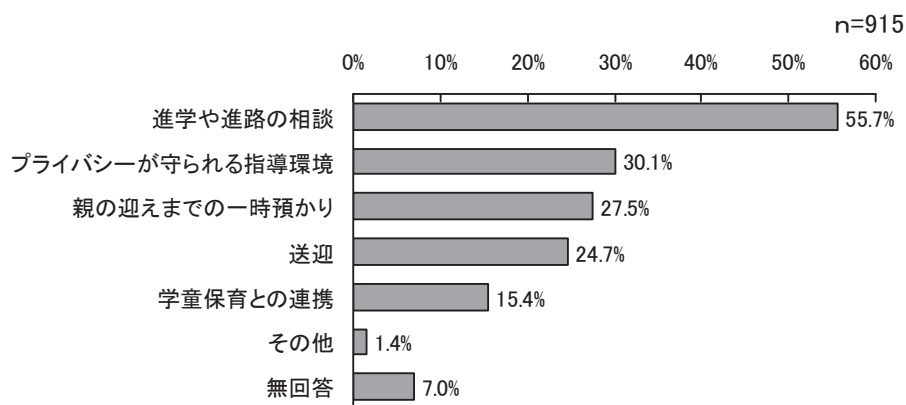
③ 開催の時間帯

開催の時間帯については、「平日の放課後」(71.0%)が他を大きく上回る。次いで「休日の午前中」(14.2%)、「休日の午後」(8.7%)となっている。



④ その他にあるとよい内容

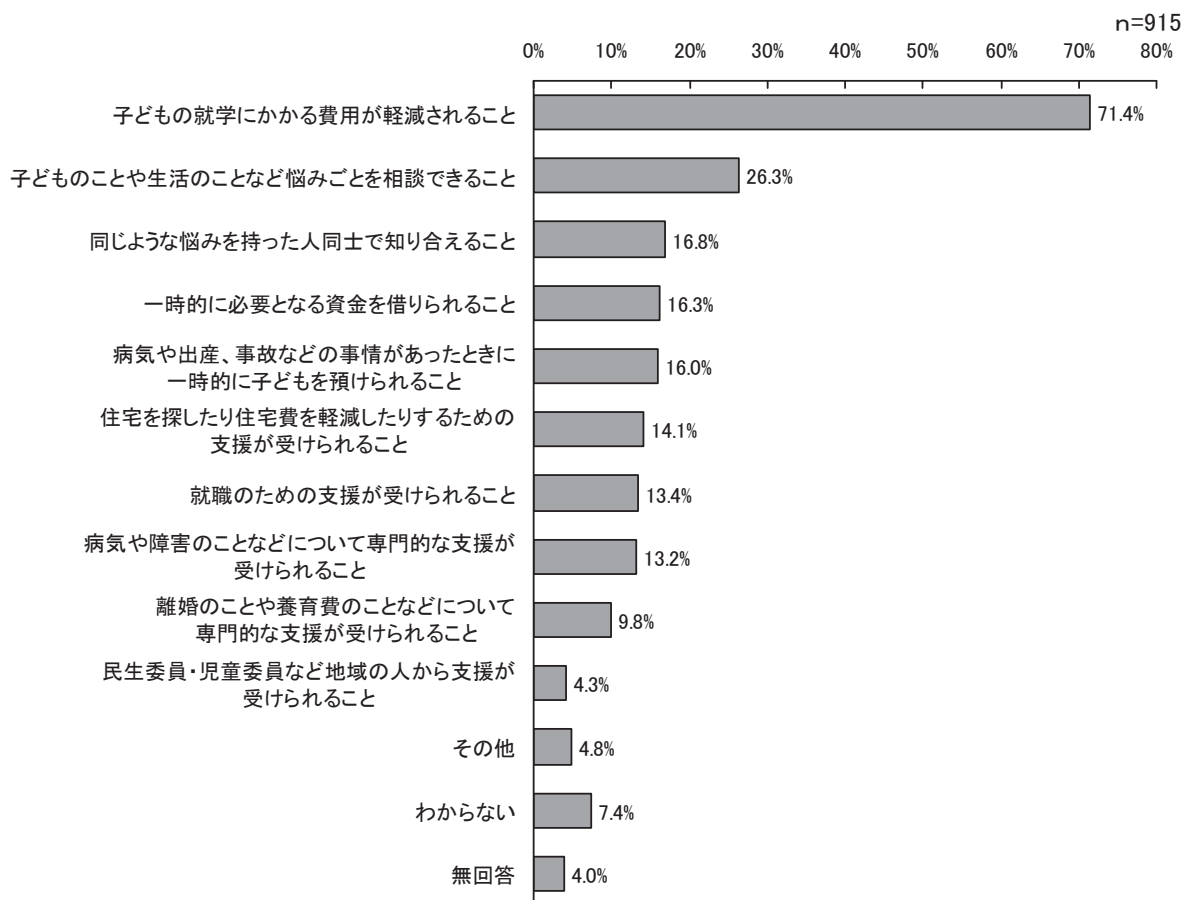
その他にあるとよい内容については、「進学や進路の相談」(55.7%)が最も多く、次いで「プライバシーが守られる指導環境」(30.1%)、「親の迎えまでの一時預かり」(27.5%)、「送迎」(24.7%)となっている。





問 34 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

現在必要とすることや重要だと思う支援については、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」(71.4%)が他を大きく上回る。次いで、やや差があり「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」(26.3%)、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」(16.8%)、「一時的に必要な資金を借りられること」(16.3%)、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」(16.0%)、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」(14.1%)、「就職のための支援が受けられること」(13.4%)、「病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること」(13.2%)となっている。



## 第2章 調査の結果

世帯類型別では、いずれも「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多くなっている。

「ひとり親世帯（母子・父子）」では、その他に「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」（32.1%）、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」（29.8%）、「一時的に必要な資金を借りられること」（28.6%）、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」（23.8%）が多くあげられている。

「ひとり親世帯（祖父母同居）」では、「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」（30.6%）、「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」（25.8%）が多い。

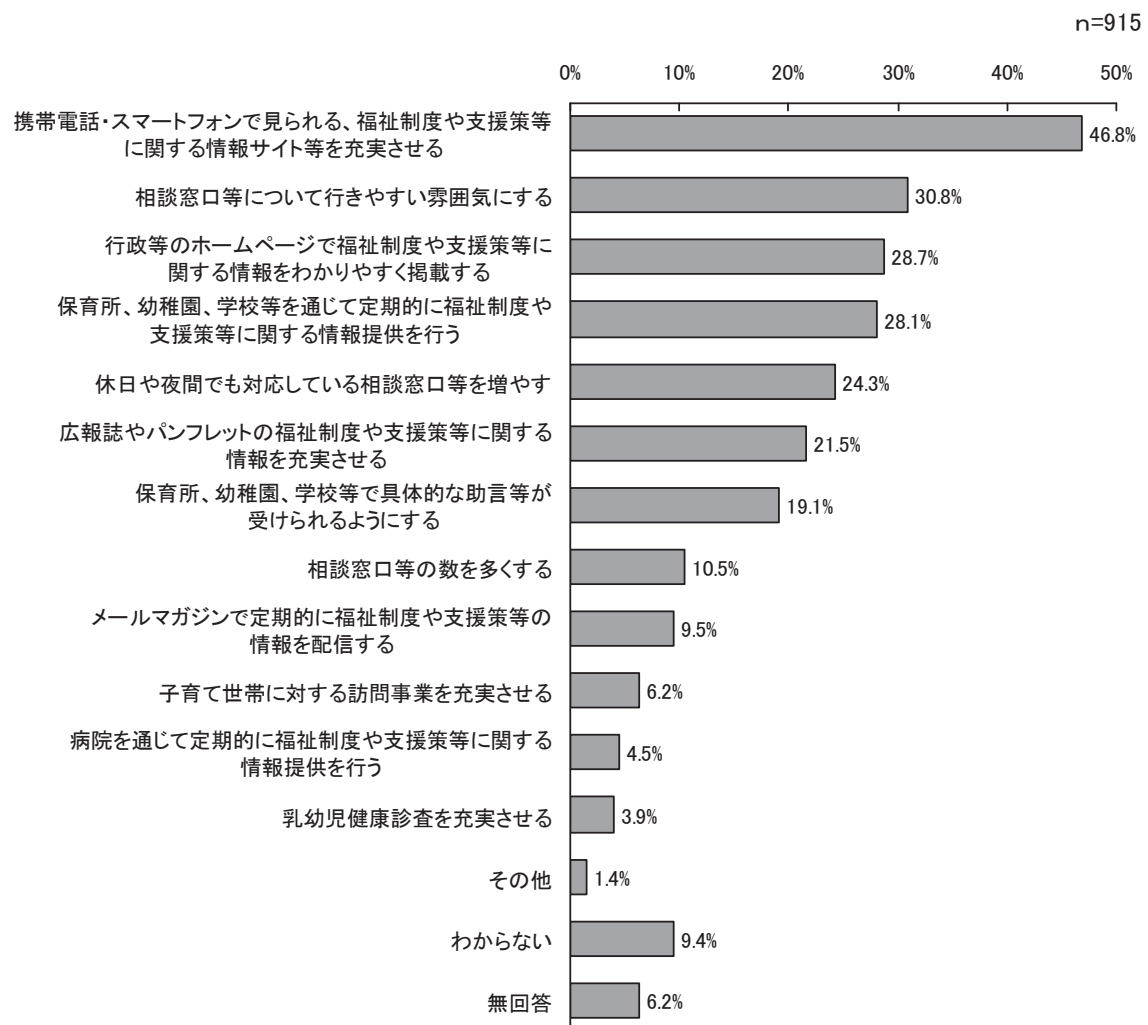
単位：上段 人、下段 %

問34 必要・重要だと思う支援	合計	子どもの 就学にか かる費用 が軽減さ れること	子ども のことや 生活のこ となど悩 みごとを 相談でき ること	同じよう な悩みを 持った人 同士で知 り合える こと	一時的に 必要とな る資金を 借りられ ること	病気や出 産、事故 などの事 情があつ たときに 一時的に 子どもを 預けられ ること	住宅を探 したり住 宅費を軽 減した りするた めの支 援が受 けられ ること	就職のた めの支 援が受 けられ ること	
全体	915 100.0	653 71.4	241 26.3	154 16.8	149 16.3	146 16.0	129 14.1	123 13.4	
世帯 類型	ひとり親世帯 (母子・父子)	84 100.0	65 77.4	27 32.1	17 20.2	24 28.6	11 13.1	25 29.8	12 14.3
	核家族世帯	598 100.0	434 72.6	159 26.6	102 17.1	99 16.6	102 17.1	67 11.2	77 12.9
	3世代世帯	169 100.0	107 63.3	49 29.0	22 13.0	18 10.7	26 15.4	18 10.7	25 14.8
	ひとり親世帯 (祖父母同居)	62 100.0	47 75.8	6 9.7	13 21.0	8 12.9	7 11.3	19 30.6	9 14.5

問34 必要・重要だと思う支援	合計	病気や障 害のこ となど につ いて専 門的 な支 援が 受け られ ること	離婚の ことや 養育 費の こと など につ いて 専 門 的 な 支 援 が 受 け ら れ ること	民生委 員・児 童委 員な ど地 域の 人 から 支 援 が 受 け ら れ ること	その他	わから ない	無回答	
全体	915 100.0	121 13.2	90 9.8	39 4.3	44 4.8	68 7.4	37 4.0	
世帯 類型	ひとり親世帯 (母子・父子)	84 100.0	13 15.5	20 23.8	9 10.7	1 1.2	5 6.0	3 3.6
	核家族世帯	598 100.0	74 12.4	46 7.7	18 3.0	33 5.5	44 7.4	19 3.2
	3世代世帯	169 100.0	27 16.0	8 4.7	8 4.7	8 4.7	18 10.7	10 5.9
	ひとり親世帯 (祖父母同居)	62 100.0	7 11.3	16 25.8	4 6.5	2 3.2	0 0.0	4 6.5

問 35 子どものことや仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

悩み事がある時に必要な支援が受けられるようにするために重要なことについては、「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」(46.8%)、「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする」(30.8%)、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」(28.7%)、「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」(28.1%)、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」(24.3%)、「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」(21.5%)などで2割を超え多くなっている。



## 第2章 調査の結果

世帯類型別では、いずれも「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」が最も多くなっている。

「ひとり親世帯（母子・父子）」では、その他に「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」（38.1%）、「メールマガジンで定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する」（17.9%）が多くなっている。

「核家族世帯」では、「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする」（33.4%）、「3世代世帯」では、「保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする」（23.1%）が多い。

「ひとり親世帯（祖父母同居）」では、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」（32.3%）が他の属性に比べ多くなっている。

単位：上段 人、下段 %

問35 悩み事がある時に 必要な支援が受けられ るようにするために	合計	携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	相談窓口等について行きやすい雰囲気にする	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	相談窓口等の数を多くする	
全体	915 100.0	428 46.8	282 30.8	263 28.7	257 28.1	222 24.3	197 21.5	175 19.1	96 10.5	
世帯類型	ひとり親世帯（母子・父子）	84 100.0	42 50.0	25 29.8	24 28.6	25 29.8	32 38.1	14 16.7	16 19.0	11 13.1
	核家族世帯	598 100.0	281 47.0	200 33.4	182 30.4	181 30.3	140 23.4	141 23.6	110 18.4	64 10.7
	3世代世帯	169 100.0	75 44.4	42 24.9	37 21.9	39 23.1	34 20.1	33 19.5	39 23.1	14 8.3
	ひとり親世帯（祖父母同居）	62 100.0	30 48.4	15 24.2	20 32.3	12 19.4	16 25.8	9 14.5	10 16.1	7 11.3

	合計	メールマガジンで定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する	子育て世帯に対する訪問事業を充実させる	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	乳幼児健康診査を充実させる	その他	わからない	無回答	
全体	915 100.0	87 9.5	57 6.2	41 4.5	36 3.9	13 1.4	86 9.4	57 6.2	
世帯類型	ひとり親世帯（母子・父子）	84 100.0	15 17.9	7 8.3	5 6.0	1 1.2	2 2.4	7 8.3	8 9.5
	核家族世帯	598 100.0	54 9.0	39 6.5	28 4.7	25 4.2	10 1.7	51 8.5	29 4.8
	3世代世帯	169 100.0	16 9.5	10 5.9	6 3.6	10 5.9	0 0.0	25 14.8	13 7.7
	ひとり親世帯（祖父母同居）	62 100.0	2 3.2	1 1.6	2 3.2	0 0.0	1 1.6	2 3.2	6 9.7

**(7) 自由意見**

問 36 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。下の枠の中に書いてください。

自由意見については、146 名の方よりご回答を頂いた。内容ごとに分類したそれぞれの件数は次のとおりである。

No.	内容	件数
1	教育費や経済的な困りごとについて	54 件
2	行政の対応・支援、施設の運営・整備について	12 件
3	学校生活（授業、部活動等）、子どもの学力について	11 件
4	保護者自身の病気や親の介護の不安	9 件
5	子どもの進路や将来について	8 件
6	PTA 役員、学童の運営の負担について	8 件
7	子どもの障害について	7 件
8	相談をする機会や気軽に相談できる環境について	6 件
9	こどものしつけや教育について	5 件
10	子どもの問題行動、マナーについて	5 件
11	児童・生徒数の減少、保育園の入所について	5 件
12	配偶者との関係や子育てに関する考え方について	4 件
13	子どもが反抗的、家族関係の不和	4 件
14	子育てと仕事の両立への不安	4 件
15	子どものいじめや友人関係について	4 件
合 計		146 件



